

会 議 記 録			
会議の名称	予算特別委員会（全体会）		会議場所 全員協議会室
			担当職員 加藤 太郎
日 時	令和5年3月27日（月曜日）		開 議 午前10時00分
			閉 議 午前10時20分
出席委員	◎富谷 ○浅田 松山（総務文教分科会◎）大塚（環境市民厚生分科会◎）木村（産業建設分科会◎） 竹内 大西 林 法貴 小林 大石 土岐 片山 原野 山木 梅本 小川 福井 三上 山本 平本 齊藤 西口 <菱田議長>		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、加藤副課長兼議事調査係長、佐藤主任、小野主任		
傍 聴	可	市民0名	報道関係者0名
		議員0名（-）	

会 議 の 概 要

10:00

[富谷委員長 開議]

1 委員長報告の確認

<富谷委員長>

これより委員長報告の確認を行う。委員長報告については、お手元配付のとおり各分科会の報告を全体会として取りまとめており、ただいまから朗読させていただきますので、確認願う。

[富谷委員長 朗読]

<富谷委員長>

委員長報告に対する意見はないか。

<福井委員>

3ページの下から3行目の「市民福祉の向上」を「市民福祉の増進」に、「魅力増進」を「魅力向上」にしてはどうか。

<富谷委員長>

皆さんどうか。

<西口委員>

その形がよい。

<三上委員>

それでよい。総務文教分科会委員長報告の文言がそのまま入っており、分科会副委員長として気づけずに申し訳なかった。指摘のとおりであると思う。

<富谷委員長>

そのように変更して報告することでよいか。

—全員了—

2 閉 議

- ・副委員長あいさつ
- ・副議長あいさつ

<浅田副委員長>

最重要議案の一つである当初予算議案の審査を担う本委員会の使命は、大変大きなものであった。3月9日に本委員会が設置され、3月14日から分科会方式による6日間の集中審査や現地視察の実施など、円滑な審査と委員会運営に御理解と御協力をいただいた。20日に実施した市長質疑を含めて十分に議論を尽くし、全40議案の審査を無事終えることができた。連日の審査で大変お疲れであったと思う。委員各位に深く感謝しお礼申し上げます。

<平本副議長>

富谷委員長、浅田副委員長、委員の皆様には、令和5年度当初予算議案を慎重に審査いただいた。6項目を抽出した市長質疑も実施いただき、市民の負託にしっかりと応えるべく議論を尽くし、熱心に審査いただいたことに心から感謝申し上げます。これらの議案は、本日の本会議で議決することとなるが、二元代表制を担う議会として、その後の予算執行や事業成果について十分にチェック機能を果たす使命がある。今後においても議会が一丸となってその役割を果たすべく、皆様の御努力と御協力を改めてお願い申し上げ、予算特別委員会閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。

<富谷委員長>

これで散会とする。

散会 10:20